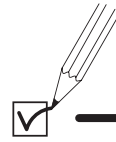


平成28年度決算をチェック



# 税金の使い方を確認しました

一般会計歳出額(使ったお金)

**171億42万円**

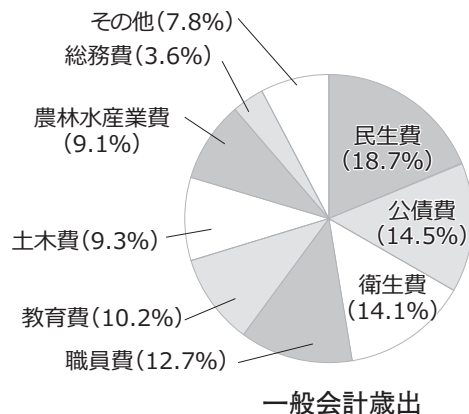
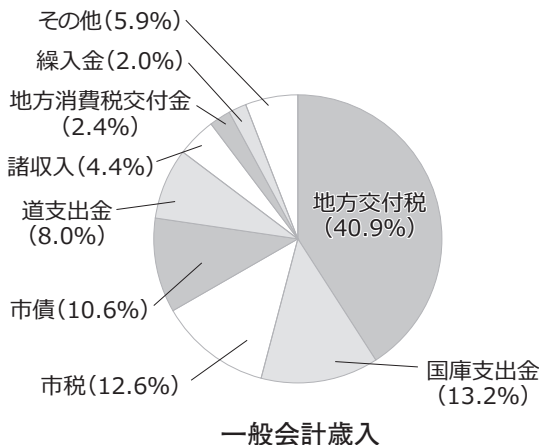
総歳出額(使ったお金)

**302億1,461万円**

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査を受けなければなりません。そのため、議会では9月13日・14日・15日に決算審査特別委員会を開催し、皆さんが納めた税金がどのように使われたかを審査しました。その審査を経て21日の本会議では、全会計の決算が全て認定されましたので、ここでは税金の使い方の一部を紹介します。

平成28年度深川市各会計決算状況 (単位：千円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
①一般会計	17,364,407	17,100,423
②特別会計 (小計)	7,577,150	7,429,172
介護保険	2,441,444	2,339,521
国民健康保険	3,640,980	3,636,381
後期高齢者医療	356,239	356,140
農業集落排水事業	266,414	256,415
地方卸売市場	11,097	11,097
下水道事業	858,529	827,171
駐車場事業	2,447	2,447
③企業会計 (小計)	5,234,004	5,685,019
水道事業	611,617	720,834
病院事業	4,622,387	4,964,185
①+②+③合計	30,175,561	30,214,614



# 決算審査報告(抜粋)

■質疑 産地パワーアップ事業でのニンニク栽培に係る導入機械の状況と、今後の作付け、販売の考え方について伺う。

■答弁 この事業は、高収益な作物や栽培体系への転換を図る取り組みを支援する制度であり、深川市地域農業再生協議会が策定した産地パワーアップ計画に基づき「にんにく生産協議会」が取り組み主体となっており、ニンニクの植えつけ機一台と収穫機二台をリース導入しています。今後の作付けについては、昨年度



の作付面積五十七アールから、平成三十年度には二ヘクタールまで拡大する計画となっています。また、販売については、現在、JAきたそらちを通じて、生食用として道外を中心に行われていますが、JAからは、今後も生産が拡大されていくことに伴い、餃子やパウダー、調味料等の加工用原料としての販売も視野に販路拡大に取り組みされると伺っています。

■質疑 高齢者バス利用料金助成事業に係る沿線ごとの利用者の把握や、市内循環の路線化など、利用しやすい取り組みに向けた今後の考えを伺う。

■答弁 沿線ごとの利用者については、もう少し踏み込んで把握分析をすることは大切なことと考えますので、今後どういった方法で行うことができるのかを検討していきます。

## 平成28年度末登録者(70歳以上)

地区	割合
全体	8.3%
深川	3.7%
一巳	7.0%
音江	11.8%
納内	14.7%
多度志	27.0%
70歳以上人口	6,434人
登録者数	534人



■質疑 公立高等学校の魅力づくり事業の実施状況は。

■答弁 平成二十六年度から開始した本事業は、初年度は、将来の目標・意識づけに関する事業や簿記等検定受検料に支援することとし、決算額は約百四十四万円、二十七年からは、模擬試験の受験料や資格取得のための講座受講料など支援内容を拡充し、決算額は約二百六十五万円、二十八年度は新規事業として通学交通費助成が加わり決算額は約四百六十万円となっています。

また、市内公立高校二校合わせての入学人数は、平成二十八年度は百七十七人で、うち市内八十五人、二

十九年度は百八十二人で、うち市内九十六人でした。

■質疑 拓殖大学北海道短期大学及びクランク記念国際高等学校による本市経済に対する波及効果について伺う。

■答弁 拓殖大学につきましては、約三百六十人の学生が本市で生活を送るとともに、各種イベント等にも積極的に参加いただいております。また、クランク記念国際高校につきましても、硬式野球部が甲子園出場を果たされたほか、二千六百人を超える生徒が本市でスクーリングを実施しているところですので。

これら両校の取り組みは、本市の知名度向上やまちづくりに寄与するとともに、地域経済に大きな波及効果をもたらしていると受けとめていますが、具体的な効果額の試算となると、専門的な知識や計算等が必要となり、直ちに対応できる状況にはありません。両校につきましては、本市がまちづくりを進める上で、必要不可欠なパートナーと考えており、今後も連携を図るとともに、可能な限りの支援に努めます。

●総括質疑があったものの中から抽出し、決算額及び事業内容は、決算説明書及び深川市の今年のしごと（決算編）より抜粋

**高齢者バス利用  
料金助成事業**

決算額 529万円

70歳以上の方が、最寄りのバス停から中心市街地など、一定区間の路線バスを定額で利用できるよう助成



**産地パワーアップ事業**

決算額 358万円

産地パワーアップ計画に基づき、にんにく生産協議会が取り組み主体となり実施した、作業機械のリース導入に対する補助



**少子化対策出会い  
創出支援等事業**

決算額 85万円

少子化・晩婚化対策として、独身男女の出会いを創出する事業を実施する団体に助成等



**移住・定住  
パワーアップ事業**

決算額 783万円

移住相談体制強化のために新たに移住支援員2人を配置し、移住定住サポートセンターを開設



**公立高等学校の  
魅力づくり事業**

決算額 461万円

資格試験等受験助成 205万円  
研修等助成 95万円  
通学交通費助成 148万円  
消耗品 13万円



**拓殖大学北海道  
短期大学振興**

決算額 4,824万円

ミュージカル公演及び市民公開講座の支援、学生の市内定住の促進、地域交流事業への助成等



**健全化判断比率及び資金不足比率の報告について**

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付した平成28年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率が下表のとおり報告されました。

◆健全化判断比率

(単位：%)

名称	深川市の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字額なし	13.43
連結実質赤字比率	赤字額なし	18.43
実質公債費比率	14.5	25.0
将来負担比率	130.5	350.0

※健全化判断比率が早期健全化基準を上回ると早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、自主的に財政の早期健全化に向けた取り組みを行わなければなりません。

◆資金不足比率

(単位：%)

公営企業会計の名称	深川市の資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足額なし	20
病院事業会計	17.6	20
農業集落排水事業特別会計	資金不足額なし	20
地方卸売市場特別会計	資金不足額なし	20
下水道事業特別会計	資金不足額なし	20

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った公営企業会計は経営健全化計画を策定し、公営企業の健全化に取り組まなければなりません。